

詐欺を考える

加藤 誓 (ちかい)

スマホのメッセージに「佐川急便です。留守でしたので、荷物を持って帰りました。080-1234-5678」。これは詐欺メッセージである。

ポストに「ご不在連絡票」を入れて対応するはずで直接携帯に連絡はしない。

詐欺は適当な携帯番号にこのようなメッセージを入力し待つのである。

返信があったら、まず「名前」次に「住所」を尋ね、電話の声で性別、およその年齢まで調査。「どちらからの荷物か心当たりがありますか？」など尋ね親族、知人の情報を得る。家族構成も尋ねることができる。その他、聞き出せる情報を入手するのである。

詐欺行為はその後である。住所を知れば、今は Google や Yahoo の地図検索で家の位置のみならず、玄関先や車庫、植木まで見ることができる。

遠方の詐欺の事務所で我が家が見えるのである。「そこまで知っているのだから、間違いない人だ！」と信用してはダメなのである。詐欺事務所では知り得た情報を基に「お金を振り込ませるストーリー」を会議するのである。



数日、数週間後に、携帯電話が鳴り、

警官、医者、弁護士、店長、知り合いの友人などストーリーに合わせ登場しパニックに陥れるのだ。振り込む前に、支払う前によく考えよう！

ところで、詐欺は誰もが犯罪であると分かるが、世の中には、詐欺とは言わないが、まがいものがあるかも・・・。

「正当な、正直な、役に立つ、良く効く、助けるために」等が付く広告の品物は本当に信頼できるのだろうか。金を支払う前によく考えよう！

詐欺の話とは、全く別だが・・・。

GoTo トラベル、10万円給付金やクーポン券など、今、支払うと言っているがこれらは将来へのツケで、孫が利子のついた借金を払うことになるはずだ。

車を手放せない私には、高速料金、ガソリン税、多種多様な自動車税と保険料、免許証更新費用など、多額の自家用車経費は正当なんだろうか、と考えてしまう。これらを支払う時、何となく釈然としないのである。

考えても無駄なことではあるのだが・・・。